

## 令和5年度決算報告書

様式第1 貸借対照表

様式第2 正味財産増減計算書  
正味財産増減計算書内訳表

様式第3 財務諸表に対する注記  
附属明細書

様式第4 財産目録

## 様式第1

## 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	31,602,645	31,748,369	△ 145,724
未収金	1,371,442	325,158	1,046,284
前払金	1,338,147	2,181,540	△ 843,393
棚卸資産	2,999,418	3,877,058	△ 877,640
流動資産合計	37,311,652	38,132,125	△ 820,473
2 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	3,101,020	2,958,900	142,120
特別積立預金	13,704,202	13,704,202	0
特定資産合計	16,805,222	16,663,102	142,120
(2) その他固定資産			
建物附属設備	1	1	0
車両運搬具	7,382,228	8,786,527	△ 1,404,299
什器備品	452,267	917,163	△ 464,896
ソフトウェア	453,201	805,201	△ 352,000
電話加入権	385,007	385,007	0
その他固定資産合計	8,672,704	10,893,899	△ 2,221,195
固定資産合計	25,477,926	27,557,001	△ 2,079,075
資産の部合計	62,789,578	65,689,126	△ 2,899,548
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	857,820	226,366	631,454
預り金	666,116	298,944	367,172
預り保証金	13,554,820	16,539,835	△ 2,985,015
流動負債合計	15,078,756	17,065,145	△ 1,986,389
2 固定負債			
退職給付引当金	3,101,020	2,958,900	142,120
固定負債合計	3,101,020	2,958,900	142,120
負債の部合計	18,179,776	20,024,045	△ 1,844,269
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
2 一般正味財産	44,609,802	45,665,081	△ 1,055,279
(うち特定資産への充当額)	( 13,704,202)	( 13,704,202)	(0)
正味財産の部合計	44,609,802	45,665,081	△ 1,055,279
負債及び正味財産合計	62,789,578	65,689,126	△ 2,899,548

## 様式第2

## 正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費			
正 会 員 受 取 会 費	6,793,000	6,867,000	△ 74,000
賛 助 会 員 受 取 会 費	1,020,000	1,070,000	△ 50,000
事 業 収 益			
自転車防犯登録事業収益	61,840,200	62,259,700	△ 419,500
法定帳簿類販売事業収益	3,960	3,190	770
管理者講習等受託収益	4,314,450	4,020,355	294,095
防犯モデルマンション審査・認定事業収益	331,500	473,000	△ 141,500
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	5,920,000	5,920,000	0
受取寄附金			
受 取 寄 附 金	2,785,000	4,493,690	△ 1,708,690
雑 収 益			
受 取 利 息	360	384	△ 24
雑 収 益	227,426	948,950	△ 721,524
経 常 収 益 計	83,235,896	86,056,269	△ 2,820,373
(2) 経常費用			
事 業 費			
給 料 手 当	14,723,369	14,041,049	682,320
臨 時 雇 賃 金	2,854,500	3,091,560	△ 237,060
退 職 給 付 費 用	504,870	470,880	33,990
福 利 厚 生 費	2,783,112	2,649,117	133,995
登録標・カード購入費	6,897,000	8,195,000	△ 1,298,000
旅 費 交 通 費	951,830	933,480	18,350
通 信 運 搬 費	1,777,800	1,864,946	△ 87,146
減 価 償 却 費	4,006,195	3,266,723	739,472
消 耗 什 器 備 品 費	130,595	97,232	33,363
保 守 料	1,067,568	1,155,293	△ 87,725

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
防 犯 広 報 費	4,060,961	6,256,402	△ 2,195,441
行 事 催 物 費	394,764	299,770	94,994
研 修 会 費	245,660	376,489	△ 130,829
印 刷 製 本 費	194,700	271,700	△ 77,000
地 域 安 全 活 動 費	1,364,338	1,687,069	△ 322,731
講 習 費	259,190	725,740	△ 466,550
調 査 研 究 費	39,600	39,600	0
賃 借 料	4,348,812	4,478,942	△ 130,130
資 材 費	65,340	65,340	0
表 彰 費	183,955	205,670	△ 21,715
燃 料 費	66,001	81,700	△ 15,699
活 動 支 援 事 業 費	487,717	505,475	△ 17,758
租 税 公 課	232,400	0	232,400
自 転 車 防 犯 登 録 委 託 費	21,128,735	21,253,170	△ 124,435
防 犯 モ デ ル マ ン シ ョ ン 審 査 ・ 認 定 委 託 費	304,000	430,000	△ 126,000
雑 費	25,000	25,330	△ 330
管 理 費			
役 員 報 酬	6,105,000	5,775,000	330,000
給 料 手 当	1,800,000	1,800,000	0
退 職 給 付 費 用	436,750	413,120	23,630
福 利 厚 生 費	1,367,629	1,538,516	△ 170,887
会 議 費	1,123,115	882,336	240,779
旅 費 交 通 費	976,720	951,160	25,560
通 信 運 搬 費	7,752	20,709	△ 12,957
消 耗 什 器 備 品 費	185,438	185,297	141
保 守 料	89,100	43,725	45,375
印 刷 製 本 費	227,700	259,600	△ 31,900
報 酬 費	1,221,800	1,506,700	△ 284,900
光 熱 水 料 費	227,884	245,598	△ 17,714
交 際 費	120,504	123,499	△ 2,995
教 育 研 修 費	16,500	33,000	△ 16,500
租 税 公 課	830	1,280	△ 450

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
支 払 負 担 金	249,800	249,800	0
雑 費	159,001	185,403	△ 26,402
期 末 棚 卸			
期 末 棚 卸 高	2,999,418	3,877,058	△ 877,640
期 首 棚 卸			
期 首 棚 卸 高	3,877,058	3,372,104	504,954
経 常 費 用 計	84,291,175	86,177,466	△ 1,886,291
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	△ 1,055,279	△ 121,197	△ 934,082
当 期 経 常 増 減 額	△ 1,055,279	△ 121,197	△ 934,082
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
車 両 運 搬 具 受 贈 益	0	1,574,100	△ 1,574,100
経 常 外 収 益 計	0	1,574,100	△ 1,574,100
(2) 経常外費用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	1,574,100	△ 1,574,100
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 1,055,279	1,452,903	△ 2,508,182
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	45,665,081	44,212,178	1,452,903
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	44,609,802	45,665,081	△ 1,055,279
II 指定正味財産増減の部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	44,609,802	45,665,081	△ 1,055,279

# 正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	( 4,416,500)	( 3,396,500)		( 7,813,000)
正会員受取会費	3,396,500	3,396,500		6,793,000
賛助会員受取会費	1,020,000			1,020,000
事業収益	( 55,571,087)	( 10,919,023)		( 66,490,110)
自転車防犯登録事業収益	50,921,177	10,919,023		61,840,200
法定帳簿類販売事業収益	3,960			3,960
管理者講習等受託収益	4,314,450			4,314,450
防犯モデルマンション審査・認定事業収益	331,500			331,500
受取補助金等	( 5,920,000)	( 0)		( 5,920,000)
受取地方公共団体補助金	5,920,000			5,920,000
受取寄附金	( 2,785,000)	( 0)		( 2,785,000)
受取寄附金	2,785,000			2,785,000
雑収益	( 227,786)	( 0)		( 227,786)
受取利息	360			360
雑収益	227,426			227,426
経常収益計	68,920,373	14,315,523		83,235,896
(2) 経常費用				
事業費	( 69,098,012)			( 69,098,012)
給料手当	14,723,369			14,723,369
臨時雇賃金	2,854,500			2,854,500
退職給付費用	504,870			504,870
福利厚生費	2,783,112			2,783,112
登録標・カード購入費	6,897,000			6,897,000
旅費交通費	951,830			951,830
通信運搬費	1,777,800			1,777,800
減価償却費	4,006,195			4,006,195
消耗什器備品費	130,595			130,595
保守料	1,067,568			1,067,568

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
防 犯 広 報 費	4,060,961			4,060,961
行 事 催 物 費	394,764			394,764
研 修 会 費	245,660			245,660
印 刷 製 本 費	194,700			194,700
地 域 安 全 活 動 費	1,364,338			1,364,338
講 習 費	259,190			259,190
調 査 研 究 費	39,600			39,600
賃 借 料	4,348,812			4,348,812
資 材 費	65,340			65,340
表 彰 費	183,955			183,955
燃 料 費	66,001			66,001
活 動 支 援 事 業 費	487,717			487,717
租 税 公 課	232,400			232,400
自 転 車 防 犯 登 録 委 託 費	21,128,735			21,128,735
防 犯 モ デ ル マ ン シ ョ ン 審 査 ・ 認 定 委 託 費	304,000			304,000
雑 費	25,000			25,000
管 理 費		( 14,315,523)		( 14,315,523)
役 員 報 酬		6,105,000		6,105,000
給 料 手 当		1,800,000		1,800,000
退 職 給 付 費 用		436,750		436,750
福 利 厚 生 費		1,367,629		1,367,629
会 議 費		1,123,115		1,123,115
旅 費 交 通 費		976,720		976,720
通 信 運 搬 費		7,752		7,752
消 耗 什 器 備 品 費		185,438		185,438
保 守 料		89,100		89,100
印 刷 製 本 費		227,700		227,700
報 酬 費		1,221,800		1,221,800
光 熱 水 料 費		227,884		227,884
交 際 費		120,504		120,504
教 育 研 修 費		16,500		16,500
租 税 公 課		830		830

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
支 払 負 担 金		249,800		249,800
雑 費		159,001		159,001
期 末 棚 卸	( △ 2,999,418)			( △ 2,999,418)
期 末 棚 卸 高	2,999,418			2,999,418
期 首 棚 卸	( 3,877,058)			( 3,877,058)
期 首 棚 卸 高	3,877,058			3,877,058
経 常 費 用 計	69,975,652	14,315,523		84,291,175
評価損益等調整前 当期経常増減額	△ 1,055,279	0		△ 1,055,279
当期経常増減額	△ 1,055,279	0		△ 1,055,279
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
車 両 運 搬 具 受 贈 益	0	0		0
経 常 外 収 益 計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経 常 外 費 用 計	0	0		0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0		0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 1,055,279	0		△ 1,055,279
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高				45,665,081
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高				44,609,802
II 指定正味財産増減の部				
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0		0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高				0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高				0
III 正味財産期末残高				44,609,802

## 1 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法による原価法によっております。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
定額法によっております。
- (3) 引当金の計上基準  
退職給付引当金・・・職員の給与等に関する規定に基づき、期末要支給額を計上しております。
- (4) リース取引の処理方法  
オペレーティング・リース取引に該当し、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて、会計処理を行っております。
- (5) 消費税等の会計処理  
税込方式によっております。

## 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	2,958,900	941,620	799,500	3,101,020
特別積立預金	13,704,202	0	0	13,704,202
合 計	16,663,102	941,620	799,500	16,805,222

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	3,101,020	( 0)	( 0)	( 3,101,020)
特別積立預金	13,704,202	( 0)	( 13,704,202)	( 0)
合 計	16,805,222	( 0)	( 13,704,202)	( 3,101,020)

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
その他固定資産			
建物附属設備	489,720	489,719	1
車 輛 運 搬 具	23,946,229	16,564,001	7,382,228
什 器 備 品	2,476,333	2,024,066	452,267
ソフトウェア	6,689,120	6,235,919	453,201
合 計	33,601,402	25,313,705	8,287,697

### 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

補助金等の 名 称	交 付 者	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 地方公共団体補助金	静岡県	0	5,920,000	5,920,000	0	—
合 計		0	5,920,000	5,920,000	0	

## 附 属 明 細 書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、記載を省略します。

### 2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目的使用	そ の 他	
退職給付引当金	2,958,900	~ 941,620	799,500	0	3,101,020

## 様式第 4

## 財 産 目 録

令和 6 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金			
	普通預金	清水銀行 鷹匠町支店	運転資金として	10,552,848
		清水銀行 鷹匠町支店	預り保証金見合の資産	13,554,820
		ゆうちょ銀行 鷹匠町支店	運転資金として	2,714,000
		静岡銀行 呉服町支店	運転資金として	4,780,977
			<現金預金計>	31,602,645
	未収金	自転車防犯登録 2,034 枚分 静岡県 ~	自転車防犯登録事業収益 管理者講習等業務受託料	1,220,400 151,042
			<未収金計>	1,371,442
	前払金	コンピューター保守料	会計システム (47ヶ月分) 給与システム (12ヶ月分) 防犯登録システム (9ヶ月分) 2024 年度版チラシ製作費 損害保険料 (9ヶ月分)	193,875 39,600 791,397 308,550 4,725
			<前払金計>	1,338,147
	棚卸資産	自転車防犯登録他計 36,719 枚 風俗営業書式他計 30 部 地域安全推進員バッジ 358 枚	在庫として 在庫として 在庫として	2,880,072 13,020 106,326
			<棚卸資産計>	2,999,418
	流動資産合計			
(固定資産)	特定資産			
	退職給付引当資産	清水銀行 鷹匠町支店	退職給付引当金見合の引当資産	3,101,020
	特別積立預金	清水銀行 鷹匠町支店 静岡銀行 呉服町支店	公益目的事業の積立資産であり 突発事案の発生時に使用する	7,504,202 6,200,000
			<特定資産計>	16,805,222
	その他の 固定資産	建物附属設備	書庫仕切用パネル 3 枚	1
		車両運搬具	防犯パトロール車 19 台	7,382,228
		什器備品	ノートパソコン 3 台他	452,267
		ソフトウェア	自転車防犯登録システム	453,201
		電話加入権	054-254-3750 他 5 本	385,007
			<その他の固定資産計>	8,672,704
固定資産合計				25,477,926
資産合計				62,789,578

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	自転車防犯登録 2,034 枚分 静岡年金事務所	自転車防犯登録委託費	416,970
			社会保険料	440,850
			<未払金計>	857,820
	預り金	役員分	社会保険料及び所得税等	666,116
	預り保証金		自転車防犯登録標 (34,316 枚) に対する預り保証金	13,554,820
流動負債合計				15,078,756
(固定負債)	退職給付引当金	役員分	役員員の退職給付金の引当金	3,101,020
固定負債合計				3,101,020
負債合計				18,179,776
正味財産				44,609,802

## 資料 4

## 任期満了に伴う理事、監事の選任

令和6年6月

役職名	氏名	就任区分	備考
理事	栗原 績	重任	元 静岡県出納長
理事	井出 勇次	重任	富士防犯協会副会長
理事	井花 範子	重任	ピアニスト
理事	小原 榮一	重任	静岡県地域安全推進員連絡協議会会長
理事	三重野 隆志	重任	静岡市社会福祉協議会会長
理事	杉田 勇三	重任	元 静岡県人事委員会事務局長
理事	崎田 則次	重任	株式会社ビイブリッジ顧問

役職名	氏名	就任区分	備考
監事	杉本 茂	重任	公認会計士（杉本公認会計士・税理士事務所）
監事	長谷川 孝行	重任	静岡県信用保証協会本店営業部経営支援担当部長

## 公益社団法人静岡県防犯協会連合会役員名簿

令和6年6月

役職名	氏名	備考
理事長 理事	栗原 績	元 静岡県出納長
副理事長 副理	齋藤 正	静岡県自治会連合会相談役
副理事長 副理	井出 勇次	富士防犯協会副会長
業務執行 理事	渡邊 伸一	公益社団法人静岡県防犯協会連合会専務理事
理事	井花 範子	ピアニスト
理事	小原 榮一	静岡県地域安全推進員連絡協議会会長
理事	三重野 隆志	静岡市社会福祉協議会会長
理事	杉田 勇三	元 静岡県人事委員会事務局長
理事	崎田 則次	株式会社ビイブリッジ顧問
監事	杉本 茂	公認会計士・税理士
監事	長谷川 孝行	静岡県信用保証協会本店営業部経営支援担当部長

# 事業報告書

令和5年度は、少年非行や犯罪のない安全で安心な住みよい地域社会を目指し、「みんなでつくろう安心の街」を合言葉に、静岡県警察、地方自治体、地区防犯協会、防犯ボランティア等と連携して、防犯活動への参加意識の醸成、防犯意識や防犯諸対策向上のための諸活動を次のとおり推進した。

## 第1 事業の内容

### 1 防犯活動推進事業

#### (1) 防犯功労者（団体）の表彰及びポスター等コンクール等

##### ア 防犯功労者（団体）表彰

次の表彰を行った。

実施年月日	表彰内容
R5.6.7	防犯功労団体表彰（21団体）
7.1	防犯功労者表彰（1人）
8.25	防犯功労者表彰（1人）
9.28	全防連防犯功労者（金章2人、銀章4人、銅章12人）、功労ボランティア団体（1団体）表彰
10.12	関防連防犯功労者（10人）、防犯功労団体（2団体）、特別功労者（1人）、特別功労団体（2団体）表彰 防犯功労者表彰（35人）
R6.2.16	防犯功労団体表彰（1団体）
3.31	防犯功労者（2人）、防犯功労団体（1団体）表彰
計	28団体 68人

なお、全防連防犯功労者表彰（金章）の2人は、令和5年10月30日、県警本部長に対する受賞報告を行った。

##### イ ポスター・標語・青パト活動写真コンクール

小・中・高校生等を対象に、全国地域安全運動・全国暴力追放運動向けのポスター・標語・青パト活動写真を公募した。

本年度の課題は、「様々なかたちの防犯ボランティア活動」（ポスター）、「暴力団排除の徹底」（標語）、「青色回転灯等装備車の活躍」（青パト活動写真）であり、応募数は、ポスター37点、標語501点、青パト写真23点であった。

応募作品を審査した結果、入選作品等19点と応募優秀校6校をそれぞれ表彰した。

また、入選作品については、(公財)全国防犯協会連合会・全国暴力追放運動推進センター・警察庁主催の全国コンクールに応募した結果、当県の応募作品が、標語の部で優秀に入選した。

なお、(公財)全国防犯協会連合会で作成した全国コンクール入選作品を一括掲載したポスターとチラシを関係団体等に配布して、地域安全運動の広報に活用し防犯意識の高揚に努めた。

#### ウ サイバーセキュリティ作品コンテスト

県民のサイバーセキュリティに対する関心と理解を深めるため、県警察本部と連携して、静岡デザイン専門学校の学生を対象にサイバーセキュリティをテーマとした作品を募集し、令和6年1月24日、同作品の審査会を開催した。

同コンテストは「デザイン部門」と「動画部門」の2部門で、2月20日、優秀作品を表彰した。

#### エ ヤング防犯ボランティア育成支援

次世代を担う学生ボランティア団体「しずおか・ぴーす」を中心に、防犯活動の更なる活性化を図るため、県警察本部と連携して、令和5年6月24日「ヤング防犯ボランティア研修会」を開催するとともに、防犯協会団体総合保険に加入(更新)した。

また、11月13日から14日にかけて全国防犯協会連合会主催の「次世代ボランティアリーダー研修会」に、本県から2名の学生ボランティアを参加させ、育成支援を行った。

### (2) 各地区防犯協会との連携と指導育成

#### ア 防犯指導員研修会の開催

令和5年8月1日、本年度から新たに防犯指導員に採用された2地区(浜松中央地区防犯協会連合会、湖西市防犯協会)の防犯指導員に対する新任研修会を開催した。

また、令和6年1月17日(西部)、1月19日(東部)、1月22日(中部)の3地区の防犯協会職員を対象に「ブロック別防犯指導員研修会」を開催し、地域安全活動の効果的推進方策や地区防犯活動の運営上の問題点等について協議・意見交換を実施した。

#### イ 防犯指導員の保険加入

防犯指導員が、日常的に実施している街頭活動や防犯教室等において安心して活動ができるよう、活動に起因する事故に備えた賠償責任保険に継続加入した。

#### ウ 地区防犯協会の活動支援

浜松市所在のスズキ株式会社から地区防犯協会の活動支援の目的で、防犯協会車1台の寄贈を受け、令和6年2月16日に菊川警察署管内防犯協会に贈呈した。

### (3) 少年の健全育成と非行防止対策の推進

#### ア 青少年の非行問題に取り組む全国強調月間等への支援

7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」及び11月に実施された「子供・

「若者育成支援強調月間」では、「丘の子どもたち」など少年非行に関するリーフレットやチラシの配布や当連合会機関誌「静防連だより」への掲載など、少年非行防止対策を支援した。

イ 少年ボランティア団体に対する協力支援

少年非行防止と健全育成を推進している少年警察ボランティア等が行う諸活動を支援した。

ウ 子供の犯罪被害防止

子供の誘拐等の被害を防ぐため、防犯教室等で使用する教材用DVDの貸し出し、チラシの作成・配布を行った。

エ 薬物乱用防止活動の推進

県警察少年サポートセンターを始め関係機関・団体等と連携し、薬物の実態と有害性を訴える広報活動を展開し、危険ドラッグ等薬物を追放する社会環境づくりを推進するとともに、各地区防犯協会や少年サポートセンター等が管内の中・高校生を対象に開催した「薬物乱用防止教室」に対し、薬物乱用防止のDVD等の貸出しをしてその活動を支援した。

(4) 各種防犯団体等との連携と地域安全活動に対する協力支援

ア 地域安全推進員に対する活動支援

地域安全推進員の活動が効果的に推進できるよう「防犯活動マニュアル」、「活動の手引き」、「参考資料」を配布するとともに、各地区の要望に沿ってチラシや防犯グッズ等を作成配布するなど、活動資器材の支援を行った。

また、地域安全推進員が安心して活動に専念できる環境を整備するため、「防犯協会団体総合保険」（ボランティア保険）に加入（更新）した。

イ 「しずおかランニングパトロール」への活動支援

平成30年10月に静岡新聞社・静岡放送、静岡県警察と同活動に賛同した民間企業・団体等の協力により発足した「しずおかランニングパトロール」（「しずおかを走ろう。しずおかを守ろう。」を合言葉のながら防犯パトロール）の活動に対する協賛及び大学生登録ランナーの活動助成を本年度も行った。

ウ 暴力追放・銃器根絶運動の推進

公益財団法人静岡県暴力追放運動推進センター及び県警察と共催で、令和5年11月21日、静岡市葵区内において、「令和5年度暴力追放・銃器根絶静岡県民大会」を開催し、「暴力団追放三ない運動プラス1」の実践など暴力団排除と銃器根絶の気運の醸成に努めた。

また、暴力団の被害を受けやすい風俗営業者の業界に対し、風俗営業所等管理者講習の機会に、暴力団対策の講義及び資料配布を行って暴力団排除意識の醸成に努めた。

更に、「暴力団への加入阻止」を課題とした標語を公募し、優秀作品を表彰した。

エ 犯罪被害者対策への協力支援

NPO法人静岡犯罪被害者支援センターと連携して、犯罪被害者支援活動への積極

的な参加と支援を行った。

オ 関係機関・団体との連携

次の関係機関・団体が開催する会議、行事に参加し、連携を強化した。

全国防犯協会専務理事・事務局長会議

関東防犯協会連絡協議会

しずおか防犯まちづくり県民会議

静岡県法人会

静岡県青少年環境整備審議会

静岡県コミュニティーづくり推進協議会

(5) 静岡県・静岡県警察との連携による犯罪抑止のための広報啓発活動

ア しずおか防犯まちづくり県民会議の行う諸施策の推進

「しずおか防犯まちづくり県民会議」の幹事団体として、昨年度の県民会議で決定された「子ども見守り強化の日」の県民への周知を図るため、小冊子、チラシ等での広報啓発活動を推進した。

イ 静岡県警察が行う諸施策の推進

県警察が行う各種の犯罪抑止のための強化期間（特殊詐欺撲滅に向けた取組「さくらセーフティ作戦」、万引き防止、年末特別警戒等）や諸対策に対して、広報用チラシ、小冊子、看板・懸垂幕等を作成、配布するなどして広報啓発活動を推進した。

また、特殊詐欺撲滅に向けた広報活動強化のため、タレントの久保ひとみさんによるポスターや電話機用広報ポップ等を作成配布した。

更に、令和5年2月に運用開始した、県警察が県民への各種防犯情報発信としての防犯スマホアプリ「どこでもポリス」の周知のための広報用ポスター、チラシを作成配布した。

(6) 地域安全運動等県民の防犯意識の高揚

ア 防犯思想の普及啓発

侵入犯罪や街頭犯罪に関する情報と対策を各種のチラシや「静防連だより」、「ホームページ」等で提供し、防犯意識の高揚を図った。

また、広報紙（誌）、小冊子、ポスター等の発行・斡旋配布について、次のとおり推進した。

○ 広報紙（誌）

- ・ 機関紙「静防連だより」（年間4回） 59,500部
- ・ 広報誌「安心な街に」 1,404冊

○ 小冊子（本）

- ・ 令和5年度地域安全推進員用参考資料 3,550冊
- ・ 防犯ボランティア活動マニュアル（実務編） 540冊
- ・ 地域安全推進員活動の手引き 585冊

・ 丘の子どもたち	1,350 冊
・ 市区町別にみた令和 4 年の犯罪	80 冊
・ 反社対策マニュアル	700 冊
・ ながら防犯実践マニュアル	3,100 冊
・ 子ども見守りマニュアル	2,300 冊
○ リーフレット	
・ 風俗環境浄化活動用	800 枚
○ チラシ	
・ 特殊詐欺被害防止	100,000 枚
・ 全国地域安全運動用	25,500 枚
・ 小さな子供の安全安心「いかのおすし」	33,000 枚
◎ ポスター	
・ 特殊詐欺被害防止	500 枚
・ 防犯映画タイアップポスター「クレヨンしんちゃん」	500 枚
・ 全国地域安全運動用	480 枚
・ 年末特別警戒用（大・小）	2,860 枚
・ 各種防犯情報等発信ツール「どこでもポリス」	1,000 枚
○ 特殊詐欺被害防止電話機用ポップ	20,000 枚
○ 懸垂幕・横断幕	
・ 全国地域安全運動用（呉服町通り・静岡駅地下道）	2 枚
・ 年末特別警戒（呉服町通り・静岡駅地下道・バルシェ）	3 枚
○ DVD	
・ 防犯教室等への貸し出し	10 地区、140 回、14,445 人
○ マスコミ等	
・ 路線バス車内放送（振り込め詐欺被害防止）	1 日 1,600 回・1 年間
・ 電車車内放送（振り込め詐欺被害防止）	1 日 130 回・1 年間
○ その他啓発用防犯資器材等	
・ 防犯手帳	1,910 冊
・ 防犯カレンダー 2024	100 部
・ 防犯ホイッスル（日本マクドナルド社寄贈）	29,750 個
・ 防犯広報グッズ（除菌シート）	15,000 個
・ こどもの犯罪被害防止啓発品（静岡県自動車整備振興会寄贈）	8,000 セット

#### イ 地域安全活動の推進

「みんなでつくろう安心の街」をスローガンに地域住民、自治体、関係機関・団体及び警察と連携して次のとおり各種地域安全活動を推進した。

#### ○ 全国地域安全運動

10 月 11 日から同月 20 日までの 10 日間、子供と女性に対する犯罪、特殊詐欺、自転車盗の被害防止を重点とした地域安全運動を県下全域で展開した。

なお、10月9日、県警察本部と共催で、J R 静岡駅構内において特殊詐欺被害防止広報大使の久保ひとみさんを招いて街頭キャンペーンを開催した。

○ 地域安全のつどい

10月12日、静岡市内「あざれあ」において県警察幹部、当連合会役職員、各地区防犯指導員、地域安全推進員等110人が参加して、「令和5年度地域安全のつどい」を開催し、防犯栄誉金章等受賞披露、防犯栄誉銀章及び地域安全・非行防止活動等の表彰伝達等を行った。

○ 年末特別警戒

12月15日から31日までの間、県警察と共催で年末特別警戒を実施した。

- 特別警戒では、立看板用ポスターを作成し、各地区防犯協会に配布して、警察署、交番・駐在所、金融機関、コンビニ、パチンコ店、事業所等に掲出したほか、呉服・町名店街や静岡駅地下道に横断幕、静岡駅パルシェに大型懸垂幕を掲出して広報啓発活動を行った。

ウ 地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策の推進

県民の身近で発生し不安感を与えている犯罪抑止対策(地区防犯協会の活動も含む)として、次のとおり諸対策を推進した。

○ 街頭犯罪抑止対策

- ・ 自動車盗難防止及び車上ねらい抑止対策
- ・ 自転車盗難防止対策
- ・ 万引き防止対策

○ 住宅対象侵入犯罪防止対策

- ・ 防犯モデルマンションの普及

○ 子供・女性を犯罪から守るための施策

- ・ 子供安全情報の提供
- ・ 体験型防犯教室
- ・ 新入学児童対策

○ オレオレ詐欺を始めとする特殊詐欺被害防止対策

- ・ オレオレ詐欺被害発生ゼロの日の広報啓発
- ・ チラシ、ポスター等の作成配布
- ・ 路線バス、電車内での車内広報

(7) 防犯施設及び防犯資器材の普及

各地区防犯協会が開催した「防犯展」等において、防犯性能の高い建物、部品等の展示に併せ、防犯モデルマンション等の普及広報を行った。

(8) 防犯対策の調査研究

関係防犯団体や自治体と連携して、防犯対策について情報交換を積極的に実施するなど、調査研究を推進した。

また、事業活動を効果的に推進するため、犯罪統計、犯罪発生傾向・特徴、地域安全活動に関する資料等を作成して、地区防犯協会を始め、県民に広く広報資料として提供した。

## 2 自転車等防犯登録事業等

### (1) 自転車等の防犯登録事業

#### ア 自転車防犯登録の推進

自転車法に基づく「自転車防犯登録所」である量販店等 479 店舗に対して自転車防犯登録業務を推進した。

令和 5 年は、自転車防犯登録所で自転車利用者が防犯登録した 100,000 台の「自転車防犯登録標」を受け付け、点検、修正及び必要事項の記載を行った上、電磁的記録を作成し、県警察本部に送付した。

また、自転車利用者は、いわゆる自転車法第 12 条第 3 項により自転車の防犯登録が義務化されていることから、指定の「自転車防犯登録所」に対し、自転車利用者の完全登録と登録業務の迅速的確な処理について、「自転車防犯登録通信」を発行し、業務上の注意喚起を促したほか、電話による指導を行い、法の適正な運用に努めた。

#### イ 照会業務の適正な推進

盗難、遺失、放置自転車の早期発見・処理のため、自転車利用者や防犯登録所及び県警察からの各照会に対し、迅速的確に処理した。

### (2) 自転車盗難防止対策の広報啓発活動

静岡県自転車軽自動車商業協同組合や各地区防犯協会等と連携し、自転車の防犯登録の完全実施や「ツーロック」の完全実施について、学校、大型スーパー、駐輪場に対して重点的に広報啓発活動を推進した。

特に、自転車盗難や車上ねらい、オートバイのキー付き被害が依然として高いことから、自転車盗被害防止啓発横断幕（200 枚）、自転車ワイヤー錠（3,500 個）他チラシ等を配布し、防犯意識の高揚、確実な鍵掛け運動を推進した。

## 3 防犯モデルマンション・タウン認定（指定）事業

### (1) 防犯モデルマンションの認定及び普及

犯罪の防止に配慮した構造、設備を有する「防犯モデルマンション認定事業」については、県警察及び業務委託先である一般社団法人静岡県都市開発協会と連携して、「ホームページ」等において普及活動を実施した。

令和 5 年度は、7 件（新規 0 件、更新 7 件）を認定している。

これら申請のあったマンションにあつては、書面、現場審査を行い「防犯モデルマンション」として認定した。

(2) **防犯モデルタウンの指定と普及**

県警察と連携し、ホームページ等を活用して犯罪に強い住宅と防犯面に配慮した地域環境設計の分譲住宅団地の「防犯モデルタウン」の広報普及活動を推進した。

#### 4 **風俗営業所等の管理者講習、構造・設備等の調査及び風俗環境浄化に関する事業**

県公安委員会から風営法第 39 条に基づく「静岡県風俗環境浄化協会」として指定を受けて、次の事業を行った。

(1) **風俗営業所等の管理者を対象とした講習会の実施**

風営法に基づく、風俗営業所等の管理者に対する法定講習を県警察と連携して、静岡県総合社会福祉会館等県内各地の会場において、21 回延べ 708 人に対する講習を行った。

(2) **風俗営業所等現地調査**

風営法に基づく、風俗営業所及び特定遊興飲食店の許可申請や構造・設備の変更承認申請に関し営業所に対し、構造設備の技術上の基準及び営業地域の規制に関する現地調査 184 件を行った。

内訳は、許可 163 件、承認 21 件であった。

(3) **環境浄化活動の推進**

風俗営業所等の管理者講習会や現地調査を通じて関係者に対し、環境浄化活動について指導するとともに、マニュアルやリーフレット等を管理者講習会において配付し、広報活動を行った。

(4) **風俗環境に関する苦情等の処理**

地域住民及び風俗業者から風俗環境に関する苦情等 2 件が寄せられ、これを適正に処理した。

## 第2 組織運営

### 1 会計及び業務監査等の実施

- (1) 令和5年4月13日、税理士鈴木剛による令和4年度収入支出決算について調査を受けた。
- (2) 令和5年4月20日、杉本茂監事・長谷川孝行監事による令和4年度の会計及び業務の執行についての監査を受けた。
- (3) 令和5年5月24日、県警察本部による業務及び財産に関する検査を受けた。

### 2 理事会の開催

- (1) 令和5年5月10日、静岡市葵区所在「グランディエールブクトーカイ」において第1回理事会を開催し、
  - 令和5年度社員総会の招集（案）
  - 令和4年度事業報告（案）
  - 令和4年度決算報告（案）
  - 任期満了に伴う理事の選任について（案）について審議し、全会一致で議決した。
- (2) 令和6年3月6日、静岡市葵区所在「グランディエールブクトーカイ」において第2回理事会を開催し、
  - 令和6年度事業計画（案）
  - 令和6年度収支予算（案）について審議し、全会一致で議決した。

### 3 社員総会の開催

- 令和5年6月7日、静岡市葵区所在「グランディエールブクトーカイ」において「令和5年度社員総会」を開催し、
- 令和4年度決算報告（案）
  - 正会員会費の改定（案）
  - 常勤理事の定額報酬の月額（案）
  - 「公益社団法人静岡県防犯協会連合会役員の報酬等及び費用に関する規程」の一部改正（案）
  - 理事辞任に伴う理事の選任（案）
- について審議し、全会一致で議決した。

#### 4 関係機関・団体との連携

公益財団法人全国防犯協会連合会、関東防犯協会連絡協議会、各地区防犯協会、その他関係機関団体等と積極的に連携の強化を図った。

#### 5 財政基盤の確立

賛助会員を拡大するため、広く募集活動を実施した。

# 事業計画書

## 第1 事業の概要

令和5年中の静岡県内における刑法犯認知件数は、15,612件で、前年に比べやや増加したものの、平成15年以降、警察、自治体を始め防犯ボランティア団体等の努力により、ピーク時の平成14年（刑法犯認知件数63,008件）と比較して4分の1以下にまで減り、数値面での治安は大きく改善傾向にあります。

しかしながら、高齢者を対象とした特殊詐欺による被害は後を絶たず、加えて女性や子供に対する犯罪、サイバー犯罪が多発するなど、安全で安心して暮らせる社会の実現には、なお一層の努力が必要であると感じられます。

このような状況から、来年度も引き続き「地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策」の活動を強力に推進し、県民の防犯意識の高揚を図り、連帯感や絆作りを強化して、地域社会が本来持っている犯罪抑止機能を高め、安全で安心できる犯罪の起きにくい社会づくりのため、警察、自治体を始め地区防犯協会、関係機関・団体、地域住民等と連携協働して、県民総ぐるみによる「しずおか防犯まちづくり」の実現を目的に、次のとおり事業を推進します。

## 第2 事業実施計画

### 1 防犯活動推進事業

#### (1) 防犯功労者（団体）の表彰及びポスター・標語・青パト活動写真コンクール

##### ア 防犯功労者（団体）の表彰

地域安全活動、青少年の健全育成等の防犯活動に功労のあった個人、団体を表彰するとともに、公益財団法人全国防犯協会連合会及び関東防犯協会連絡協議会への適切な表彰上申を行う。

##### イ ポスター・標語・青パト活動写真コンクール

関係機関の協力を得て、県内の小・中・高校生等から地域安全や暴力団追放に関するポスター・標語を募集するとともに、青パト活動写真を募集し、これら作品のコンクールを開催、優秀作品を表彰する。

#### (2) 各地区防犯協会との連携と指導育成

##### ア 防犯指導員研修会の開催

防犯活動を効果的に推進するため、地区防犯協会との連携を強化するとともに、県警察生活安全部の担当幹部を講師に招いて、ブロック別防犯指導員研修会等を開催する。

- イ 防犯指導員に対する保険の加入  
防犯指導員が安心して業務推進できるよう賠償責任保険に加入する。
- ウ 青色防犯パトロール車の配車の斡旋  
地域安全活動の機動性を確保するため、青色防犯パトロール車の配備の斡旋を行う。

### (3) 少年の健全育成及び非行防止活動の実施

- ア 青少年の非行問題に取り組む全国強調月間等への支援  
7月の「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」、11月の「子供・若者育成支援強調月間」を支援する。
- イ 少年ボランティア団体に対する協力支援  
少年警察ボランティア等の活動を支援する。
- ウ 薬物乱用防止活動の推進  
静岡県警察少年サポートセンターを始め、関係機関・団体と連携し、薬物乱用の実態と有害性を訴える広報活動を展開し、危険ドラッグ等薬物を追放する社会環境づくりを推進するとともに、中・高校生及び大学生等を重点対象とした薬物乱用防止教室を開催する。

### (4) 各種防犯団体等との連携と地域安全活動に対する協力支援

- ア 防犯ボランティア地域交流会等の開催  
「安全で安心なまちづくり」を推進するため、防犯ボランティア役員、自治体関係者等の防犯ボランティアのリーダーを中心に「防犯ボランティア地域交流会」を開催する。  
また、県警察が主催するヤング防犯ボランティア交流会の開催を支援する。
- イ 地域安全推進員等に対する活動支援  
地域安全推進員の活動に対し、活動マニュアル等の冊子を交付するとともに、「ボランティア保険」の加入促進を支援する。  
また、自主防犯ボランティア団体の活動が効果的に推進できるよう指導マニュアル・小冊子、装備資器材等を配布するなど積極的に支援する。  
更に、大学生を中心とした20歳代や、40歳代以下の会社員、公務員、自営業者等の現役世代による自主防犯活動への参加促進と活性化を図るための諸活動を支援する。
- ウ 暴力追放・銃器根絶運動の推進  
暴力団の介在を受けやすい風俗営業の業界に対し、風俗営業所等管理者講習会において、暴力団撃退マニュアル等の資料を配布しての県暴力団排除条例の解説等の講義を行うとともに、警察、公益財団法人静岡県暴力追放運動推進センターとの共催で、「暴力追放・銃器根絶県民大会」を開催し、県民に対して暴力追放及び銃器のない社会環境づくりを推進する。

エ 犯罪被害者対策への協力支援

NPO法人静岡犯罪被害者支援センターと連携して、犯罪被害者支援活動への積極的な参加と支援を継続して行う。

オ 関係機関・団体との連携の強化

警察や関係機関・団体が主催する会議や諸行事に積極的に参加し、連携の強化を図る。  
また、平成30年10月発足した「しずおかランニングパトロール（SRP）」活動への支援を行う。

(5) 静岡県・静岡県警察との連携による犯罪抑止のための広報啓発活動

ア しずおか防犯まちづくり県民会議の行う諸施策の推進

「しずおか防犯まちづくり県民会議」の幹事団体として、県民会議の活動重点である「子供の安全確保対策による被害防止」「高齢者を中心とした特殊詐欺の被害防止」など、子供・女性・高齢者等の被害の防止、住居及び事業所等の盗難被害防止を中心に諸施策を推進する。

イ 静岡県警察が行う諸施策の推進

県警察が行う各種の犯罪抑止のための強化期間（全国地域安全運動、年末特別警戒）、特殊詐欺撲滅に向けた取組強化等や諸対策に対して、広報媒体を活用するとともに、チラシ・ポスターを始め、小冊子、看板及びDVDを購入、配布するなどして広報啓発活動を推進する。

(6) 地域安全運動等県民の防犯意識の高揚

ア 防犯思想の普及啓発

侵入犯罪や街頭犯罪に関する情報と対策を、各種のチラシや「静防連だより」、「ホームページ」等で提供し、防犯意識の高揚を図るとともに、公益財団法人全国防犯協会連合会や関係団体発行の機関紙（誌）、各種資料、ポスター、リーフレット等を斡旋・配布するなど、継続した広報啓発活動を推進する。

また、犯罪の発生傾向と防犯対策について要望の多いDVDを購入整備して各地区に貸し出し、視聴覚を通じた自主防犯意識の高揚と犯罪抑止を図る。

イ 地域安全活動の推進

県民の防犯意識の高揚と自主防犯活動を定着させるため、「みんなでつくろう安心の街」をスローガンに警察、自治体、関係機関・団体、地域住民等と連携して、「自分の命・財産は自ら守る」「自分たちの地域は皆で守る」を浸透させるよう恒常的な地域安全活動を推進する。

また、「全国地域安全運動」（10月11日から同月20日までの10日間）の実施、「地域安全のつどい」の開催、「年末特別警戒」の支援等、個別の施策を推進する。

ウ 地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策の推進

県民の身近で発生し不安感を与えている街頭犯罪、住宅を対象にした侵入犯罪、子供・女性を対象にした犯罪、特殊詐欺等を抑止するために、県警察が総力を挙げて推進している「地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策」の活動を積極的に支援する。

(7) 防犯施設及び防犯資器材の普及

防犯モデルマンション認定事業や防犯資器材（防犯ブザー、迷惑電話防止機器等）を広報紙、チラシ、ホームページ、各種会議・イベント等で紹介して普及を図る。

(8) 防犯対策の調査研究

事業活動を効果的に推進するため、他府県防犯協会との情報交換を積極的に実施し、有効施策を活用する。

また、少年非行・各種犯罪実態、犯罪統計、犯罪発生傾向・特徴、地域安全活動に関する資料を収集し、防犯対策の調査研究を推進する。

## 2 自転車等の防犯登録事業等

(1) 自転車等の防犯登録事業

ア 自転車等防犯登録の推進

自転車防犯登録所と連携を密にして、登録業務を適正かつ効率的に推進し、併せて自転車等防犯登録標の早期登録に努める。

イ 照会業務の適正な推進

盗難・遺失・放置自転車の早期発見・処理のため、自転車利用者等からの照会に対して迅速的確に対応する。

(2) 自転車盗難防止対策の広報啓発活動

各世帯数台保有している自転車の放置・盗難が社会問題化していることから、自転車の盗難防止と被害の早期回復を図るため、学校、大型量販店、駐輪場に対して、自転車防犯登録の実施とカギ掛けの励行について重点的に広報啓発活動を推進する。

### 3 防犯モデルマンション・タウン認定（指定）事業

#### (1) 防犯モデルマンションの認定と普及

県警察及び一般社団法人静岡県都市開発協会と連携して、犯罪の防止に配慮した構造設備を有する「防犯モデルマンション」の適正な認定と普及を図る。

#### (2) 防犯モデルタウンの指定と普及

県警察と連携して、犯罪に強い住宅と防犯に配慮した地域環境設計の分譲住宅団地を「防犯モデルタウン」に指定する制度の普及を図る。

### 4 風俗営業所等の管理者講習、構造・設備等の調査及び風俗環境浄化に関する事業

#### (1) 受託事業の推進

- ア 風俗営業及び特定遊興飲食店営業の管理者を対象とした講習会を開催する。
- イ 風俗営業及び特定遊興飲食店営業の許可申請等における営業可能地域及び営業所の構造・設備等の現地調査を実施する。

#### (2) 環境浄化活動の推進

関係機関・団体と連携して、繁華街・歓楽街における悪質有害な宣伝ポスターを一掃するなどの環境浄化活動を推進するとともに、県警察が推進している「地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策」を支援する。

#### (3) 法定帳簿等の斡旋

風俗営業許可申請書等の法定用紙及び風俗営業所等管理者の業務に関する必要書類の斡旋を行う。

#### (4) 風俗環境に関する苦情の処理

地域住民からの風俗環境に関する苦情、要望等を受け、問題の早期解決に努める。

## 第3 組織運営

### 1 会議の開催

#### (1) 令和6年度理事会

令和6年5月8日、静岡市内において、第1回理事会を開催。

令和6年6月5日、静岡市内において、第2回理事会を開催する。

令和7年3月初旬、静岡市内において、第3回理事会を開催する。

#### (2) 令和6年度社員総会

令和6年6月5日、静岡市内において、社員総会を開催する。

・

### 2 関係機関・団体との連携の強化

公益財団法人全国防犯協会連合会、関東防犯協会連絡協議会、地区防犯協会、その他関係機関・団体等との、より広範な連携協働を強化する。

### 3 財政基盤の確立

本会の目的や事業活動に賛同する賛助会員を広く募集する。

# 収 支 予 算 書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	〔 4,366,500〕	〔 3,396,500〕	〔 7,763,000〕
正会員会費	3,396,500	3,396,500	6,793,000
賛助会員会費	970,000		970,000
事業収益	〔 58,165,500〕	〔 12,487,500〕	〔 70,653,000〕
自転車防犯登録事業収益	53,512,500	12,487,500	66,000,000
法定帳簿類販売事業収益	3,000		3,000
管理者講習等受託収益	4,300,000		4,300,000
防犯モデルマンション審査・認定事業収益	350,000		350,000
受取補助金等	〔 5,920,000〕	〔 0〕	〔 5,920,000〕
受取地方公共団体補助金	5,920,000		5,920,000
受取寄付金等	〔 1,000,000〕	〔 0〕	〔 1,000,000〕
受取寄付金	1,000,000		1,000,000
雑収益	〔 201,000〕	〔 0〕	〔 201,000〕
受取利息	1,000		1,000
雑収益	200,000		200,000
経常収益合計	69,653,000	15,884,000	85,537,000
(2) 経常費用			
事業費	〔 69,653,000〕		〔 69,653,000〕
給料手当	14,000,000		14,000,000
臨時雇賃金	2,880,000		2,880,000
退職給付費用	550,000		550,000
福利厚生費	2,900,000		2,900,000
登録標・カード購入費	7,810,000		7,810,000
自転車防犯登録委託費	22,550,000		22,550,000
旅費交通費	730,000		730,000
通信運搬費	2,000,000		2,000,000
減価償却費	3,930,000		3,930,000

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
消耗什器備品費	90,000		90,000
保 守 料	1,000,000		1,000,000
防 犯 広 報 費	4,000,000		4,000,000
行 事 催 物 費	300,000		300,000
研 修 会 費	250,000		250,000
印 刷 製 本 費	150,000		150,000
地 域 安 全 活 動 費	1,300,000		1,300,000
講 習 費	300,000		300,000
調 査 研 究 費	40,000		40,000
賃 借 料	4,000,000		4,000,000
資 材 費	70,000		70,000
表 彰 費	180,000		180,000
燃 料 費	70,000		70,000
活 動 支 援 事 業 費	390,000		390,000
租 税 公 課	30,000		30,000
法 定 帳 簿 類 購 入 費	3,000		3,000
防犯モデルマンション審査・認定委託費	100,000		100,000
雑 費	30,000		30,000
管 理 費		[ 15,884,000 ]	[ 15,884,000 ]
役 員 報 酬		7,465,000	7,465,000
給 料 手 当		1,800,000	1,800,000
退 職 給 付 費 用		890,000	890,000
福 利 厚 生 費		1,350,000	1,350,000
旅 費 交 通 費		440,000	440,000
通 信 運 搬 費		10,000	10,000
会 議 費		900,000	900,000
教 育 研 修 費		50,000	50,000
消耗什器備品費		100,000	100,000
保 守 料		100,000	100,000
印 刷 製 本 費		220,000	220,000

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
報 酬 費		1,800,000	1,800,000
光 熱 水 料 費		240,000	240,000
租 税 公 課		1,000	1,000
支 払 負 担 金		250,000	250,000
交 際 費		98,000	98,000
雑 費		170,000	170,000
経 常 費 用 合 計	69,653,000	15,884,000	85,537,000
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	0	0	0
評 価 損 益 等 計 当 期 経 常 増 減 額	0	0	0
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経 常 外 収 益	0	0	0
(2) 経常外費用			
経 常 外 費 用 合 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	45,665,081	0	45,665,081
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	45,665,081	0	45,665,081
II 指定正味財産増減の部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 加 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	45,665,081	0	45,665,081

静岡県警察の定期人事異動により、本年4月1日付けで就任した、松本生活安全部参事官兼生活安全企画課長に当連合会の参与を委嘱しました。

なお、水嶋生活安全部長には、昨年に引続き参与を委嘱させて頂いております。

新参与の委嘱につきましては、全理事から同意を得ております。

新・旧	現職名	氏名	備考
旧	生活安全部長	水嶋春彦	留任
新	生活安全部参事官 兼生活安全企画課長	松本一勝	
旧	同上	佐野信浩	退職